

令和7年度都立篠崎高校における教科指導の重点

教科	重点課題	取組	発展的取組
国語	・「読むこと」の指導の充実 ・「書くこと」の指導の充実	・4月の教科会で年間指導計画について科内で共有し、指導事項について確認する。 ・「読むこと」の指導を通して、語彙力を高め、文章を的確に読み取る力を身に付けさせる。 ・「書くこと」の指導を通して自己の考えをまとめ、表現できる力を身に付けさせる。	・論理的な文章及び実用的な文章を読む力を身に付けるために、校内で実施するLiteras検定や漢字検定に関わる学習も取り入れる。 ・文章を読んだり他者の話を聞いたりする中で、自己の考えを文章にまとめ、それをオンライン上でクラス内で共有し、それぞれの文章の良い点を評価し合う。
地歴・公民	観点別評価の充実	・グランドデザイン、教科内ルーブリックに基づいた指導と評価の一体化に向けた指導改善案の策定と実施 ・各学期で評価方法及び定期考査の結果の共有と改善案検討、授業の相互参観を実施	・観点別学習状況の評価の理解を深める研修会の実施 ・主体的、対話的で深い学びを実現する授業改善の継続の実施
数学	・中学校での既習事項の定着 ・基礎学力の定着	学習ソフトやサービスを活用し、中学校の既習事項について復習し定着させていく。 考査前課題等で基礎的な計算力を定着させる。 生徒個々の学力に応じた習熟度別に授業を展開し、基礎基本の定着を図る。	高校での学習内容に、中学校の既習事項や定着した基礎学力を生かすことで、より理解度を高め、発展的な内容へチャレンジさせる。
理科	・主体的に学ぶ環境づくり。	・生徒相互に学ぶ時間の確保。 ・生徒の自由意見を尊重する。 ・答えが難しい問題を考えさせる。 ・例を参考にし実験、課題などを行う。 ・提出物の提出方法の徹底。	・実験結果を考察し発表する。 ・個人、班で問題を解く。
保健体育	・主体的に体育授業に取り組む生徒の育成	・体育委員を中心とした授業の取り組みとし、準備・片付けも含め生徒が主体的に取り組むように指導を行う。	・学期の中間など、単元計画に余裕ができた際には、体育委員がその日に行う種目や授業内容を決定し、主体的にクラスで授業に取り組むことができるようにしていく。
芸術	・「表現意図をもつこと」の指導の充実	表現意図の根拠となる基礎知識や表現力の向上を重視した授業を実施	発表、パフォーマンス、グループ活動等を通して、表現の工夫や問題解決を目指した学習を展開する。
外国語	・外国語の技能(四技能)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる力を身に付ける。 ・英語学習において、生徒の主体性を伸長する工夫をおこなう。	・コミュニケーション活動を通して基礎学力の向上をはかる。 ・ペアワーク・グループワークによる話し合い活動と発表活動、パフォーマンステストを実施する。 ・生徒の英語を発する時間を増やす。 ・ペアワーク・グループワーク、アクティブラーニングの時間を増やし、生徒の主体性を伸ばす。	・一般受験に対応できる学力を養成する。 ・海外学校間交流をより活発にし、実際に英語に触れる時間を多くする。
家庭	・「生きる力」を育む ・主体的に学習に取り組む態度に関する評価の充実	・授業にコンピュータ端末を用いた調べ学習や話し合い活動を積極的に取り入れることで、主体的・対話的で深い学びの実現に取り組む。	・長期休暇などを活用した、ホームプロジェクトの実施をする。
情報	・「探究」に資するスキル取得 ・情報モラルの主体的活用	・パソコンに対する基本的な操作を重視し、「探究」や他教科の学習に活用できる習得する。 ・とくに、SNSに対するモラルについて、さまざまな事例をもとに理解を深め、実社会でも役立つものとする。	・パソコン関連の各種資格の取得を目指す。 ・プレゼンテーション能力を高め、発信能力を高める。